

学校法人熊本YMCA学園 事業報告

・ YMCA水前寺幼稚園

(1) 幼稚園

	満3歳児		3歳児 (年少組)		4歳児 (年中組)		5歳児 (年長組)		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
4月	9名	9名	22名	22名	34名	34名	33名	31名	98名	96名
5月	9名	9名	22名	22名	34名	34名	33名	31名	98名	96名
6月	9名	9名	22名	22名	34名	34名	33名	31名	98名	96名
7月	9名	9名	22名	22名	34名	34名	33名	31名	98名	96名
8月	9名	9名	22名	22名	34名	32名	33名	32名	98名	95名
9月	9名	9名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	98名	97名
10月	18名	15名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	105名	102名
11月	18名	15名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	105名	102名
12月	18名	15名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	105名	102名
1月	18名	15名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	105名	102名
2月	18名	15名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	105名	102名
3月	18名	15名	22名	24名	34名	32名	33名	32名	105名	102名
平均	13.5名	12名	22名	23.1名	34名	32.6名	33名	31.6名	101名	99名

〔年間評価〕

前半は転園などによる人数の変動があったが10月からは102名での推移となった。今後は、満3歳児の獲得が大きなカギとなる。

	ピアノ教室		バレエ		そろばん教室	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
4月	19名	16名	14名	6名	13名	15名
5月	19名	19名	14名	7名	13名	18名
6月	19名	17名	14名	8名	13名	18名
7月	19名	16名	14名	8名	13名	17名
8月	19名	19名	14名	10名	13名	18名
9月	19名	19名	14名	10名	13名	18名
10月	19名	19名	14名	10名	13名	18名
11月	19名	19名	14名	10名	13名	18名
12月	19名	20名	14名	5名	13名	14名
1月	19名	20名	14名	5名	13名	14名
2月	19名	20名	14名	5名	13名	14名
3月	19名	20名	14名	5名	13名	14名
平均	19名	18.6名	14名	7.4名	13名	16.4名

〔年間評価〕

バレエ教室が1月から講師の交代によりレッスン日が週2日から1日に変更になり4名の退会があった。また今年度から試験的に開講しているチアリーディング教室は5名のまま推移している。卒園児だけでなく外部生の受講も今年は見られるようになった。

2. YMCA熊本五福幼稚園

(1) 幼稚園

	満3歳児		3歳児 (年少組)		4歳児 (年中組)		5歳児 (年長組)		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
4月			24名	24名	23名	24名	18名	17名	65名	65名
5月			24名	24名	23名	24名	18名	17名	65名	65名
6月			24名	24名	23名	24名	18名	17名	65名	65名
7月			24名	24名	23名	24名	18名	17名	65名	65名
8月			24名	24名	23名	24名	18名	17名	65名	65名
9月			24名	23名	23名	24名	18名	17名	65名	64名
10月	10名	8名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	75名	72名
11月	10名	11名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	75名	75名
12月	10名	11名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	75名	75名

1月	10名	11名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	75名	75名
2月	10名	11名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	75名	75名
3月	10名	11名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	75名	75名
平均	5名	11名	24名	23名	23名	24名	18名	17名	70名	70名

〔年間評価〕

前半、後半ともに、予算人数での園児数の推移を保つことができた。次年度は、満3歳児の5月入園をスタートさせていく予定。

3. 専修学校熊本YMCA学院

(1) 専門課程・高等課程

	建築科						ホテル観光科					
	第1学年		第2学年		計		第1学年		第2学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	62名	63名	58名	58名	120名	121名	9名	10名	21名	22名	30名	32名
後期	59名	61名	56名	58名	115名	119名	9名	10名	21名	22名	30名	32名
平均	61名	62名	57名	58名	118名	120名	9名	10名	21名	22名	30名	32名

	医療秘書科							
	第1学年		第2学年		専攻科		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	20名	21名	18名	18名	名	名	38名	39名
後期	19名	21名	18名	17名	名	名	37名	38名
平均	20名	21名	18名	18名	名	名	38名	39名

	健康スポーツ科					
	第1学年		第2学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	12名	13名	16名	17名	28名	30名
後期	12名	13名	16名	17名	28名	30名
平均	12名	13名	16名	17名	28名	30名

	こども保育科							
	第1学年		第2学年		第3学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	21名	22名	16名	17名	9名	9名	46名	48名
後期	20名	18名	16名	17名	9名	9名	45名	44名
平均	21名	20名	16名	17名	9名	9名	46名	46名

	グローバルコミュニケーション科					
	第1学年		第2学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	名	名	—	—	名	名
後期	名	名	—	—	名	名
平均	名	名	—	—	名	名

	日本語科					
	新入生		継続生		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
春期	20名	54名	5名	6名	25名	60名
秋期	60名	30名	23名	56名	83名	86名
平均	40名	42名	14名	31名	54名	73名

〔年間評価〕

<建築科>

- ・2年生の卒業制作発表会をジェーンズホールで実施した。各自が作品の特徴をアピールし、コンテスト形式でそれぞれの出来栄を評価し合った。卒業制作作品は4階廊下に2週間展示した。発表会では、1年生が司会進行を担当、全員が発表会を視聴した。
- ・2年生は全員卒業となり、就職率も100%になった。

- ・1年生の就職活動は合同企業説明会への参加がキックオフとなった。それぞれが能動的に就職活動を始めた。
- ・在学中に2級建築士資格を取得できるよう、受験しやすい環境を整え、受験に向けて取り組んでいる。
- ・2022年度一級建築士試験に、卒業生5名が合格したという嬉しい報告があった。

<地域創生ITビジネス科>

募集停止のため、在籍者なし。

<医療秘書科>

- ・コロナ禍に伴い、医療機関実習や病院見学の延期や中止もあったが、無事に全カリキュラムを終了し、全員が卒業となった。
- ・実習先で就職先した学生も数名おり、年度内には全員が医療業界への正社員就職率100%となった。
- ・キャンプリーダーや留学生との交流、オープンキャンパスのお手伝いなど、積極的に活動する学生が多かった。今後も継続して取り組めるようにアシストしていく。
- ・日本医師会認定医療秘書養成校として県医師会と協力し、学科運営や学生募集に取り組んでいく。

<ホテル観光科>

- ・クラスキャンプはホテル特有の観光プログラムを取り入れ実施した。学生も十分な経験を楽しみ、学科特有の学びを有意義に行った。
- ・SDGsの取組として、1年生は宇城市三角町の「イノP」にて勉強会を実施。地域を自分たちの手で保全し、命と向き合う中で収入も得るという取組についての体験学習を実施した。同じく2年生は地域の課題に取組み、学生目線で持続可能な取組を提案するという目標のもと活動した。3つのチームに分かれ現地訪問、課題抽出、提案を行った。
- ・1年次のビジネス系検定(サービス接遇、秘書)、ホテル実務技能認定試験初級は留学生を含め100%の合格であった。
- ・熊本市の観光について、大西一史熊本市長と意見交換会を行った。「共に熊本市を創る仲間」として若者の意見を聞いていただき、よい懇談の機会が持てた。
- ・卒業制作となる模擬挙式は、各自の役割を担当しSDGsをテーマにした発表が出来た。
- ・就職内定率は100%。

<健康スポーツ科>

- ・現場での業務に近い経験や知識を身に付けるカリキュラムを行った。施設の使用調整に苦慮する場面もあったが、大きな遅れなく終了することができた。
- ・コロナ禍の中でも、マッするYMCA健康体操(介護予防教室)をはじめとした自主事業を継続して実施できた。一新小学校と共同で実施している体育館クラブ(子どもスポーツスクール)での活動も継続し、地域の活動の一つとして好評を得ている。2023年度からは、陸上競技をベースとしたスポーツクラブ「アスリートクラブ」も自主事業化し、スポーツ指導者の活動現場や、地域の子どものスポーツの受け皿とし、健康スポーツ科の認知拡大につなげたい。
- ・トレーナー資格取得のための研修など、プロの指導者からの学びを通して知識と技術の習得に取り組むことができた。今後は、IT化への対応等を通して、より現場で求められる実践力を身につけたトレーナーの輩出を目指したい。
- ・松橋高校、岱志高校など、体育コースのある高校からの依頼でテーピング実習やキャンプ実習も請け負い、高校生に直接アピールの機会を得ている。岱志高校からはYMCAとの包括的な連携の提案も頂いている。この関係を維持し、これからの学生募集につなげたい。

<介護福祉学科>

募集停止のため、在籍者なし。

<児童福祉教育科・こども保育科>

- ・スクーリング未受講等により保育・教育実習が必要となった2年生が数名いたが、滞りなく実施できた。
- ・3年生は、希望する園の内定を年内に全員いただいた。学生一人一人の活動の成果の賜物であった。
- ・1月22日の卒業発表会公演には、在校生、保護者、非常勤講師、一般の方、職員含め、100名を超える来場者があった。発表者9名という少ない人数ではあったが、3年間の学びを形にすることができた。ご協力いただいたすべての方々にも心より感謝したい。
- ・2023年度より指定保育士養成施設としての認可が決まり、新たなカリキュラムでの学生指導を行うこととなった。

<グローバルコミュニケーション科>

募集停止のため、在籍者なし。

<日本語科>

- ・2023年4月期は43名の新生が入学し、在席生は継続性の70名とあわせ、11か国113名となった。
- ・新生43名の内、3名はウクライナからの避難民である。内2名は日本財団からの奨学金受給者であるが、もう1名はその対象外であるため、「ウクライナ避難民向け日本語学校奨学金募金」を熊本YMCA内で行い、支援することが4月20日の常議員会で決定され、5月から開始する予定である。

(2) 附帯事業

校舎	部 門	講 座 名	細 目	開講月	予算	実数
中央	高等学校	単位制通信制高等学校サポート科	前期新人	月	0名	0名
			前期継続	月	0名	0名
			後期新人	月	0名	0名
			後期継続	月	0名	0名

募集停止のため、在籍者なし

校舎	部 門	講 座 名	開講月	予算	実数
中央	通信制事業	社会福祉学科通信制	4月～3月	81名	66名
		社会福祉受験対策講座	10月・11月	104名	84名
		精神保健福祉学科通信制	4月～2月	41名	34名
		精神保健受験対策講座	10月・11月	26名	29名

[年間評価]

- ・コロナの影響により、スクーリングはGoogle Meetを利用したオンライン授業と対面授業のハイブリッドで行った。オンライン授業は事前にアンケートや練習会を行った。
- ・社会福祉学科2年生の一部の受講生について、コロナ感染拡大の影響で実習が中止となり、オンライン演習やレポート提出などの代替実習とした。
- ・社会福祉学科1年生の実習はコロナ禍で中止になる可能性があるものの、現状は通常通り実施している。
- ・精神保健福祉学科は一部の実習は通常通り行なっているが、ほとんどの実習は実習先である精神科病院等の受け入れが困難な事態になったためレポート提出などの代替実習としている。
- ・受講生のほとんどが医療機関や福祉施設に勤務しているため、対面式のスクーリングについては、感染リスクをふまえ、警戒感が強い。
- ・社会福祉学科の修了式については、コロナ感染状況を考慮し、オンラインと対面とのハイブリッドで実施した。精神保健福祉学科の修了式についても同様に行った。